四国森林管理局 森林技術・支援センター

次世代につなげる森林づくり

NO. 9 号

平成 26 年 10 月 27 日

森林総合監理士（フォレスター）育成研修事業 技術者育成研修 四国ブロック研修を実施

◆「フォレスター」は、市町村森林整備計画の策定支援を通じて、地域の森林づくりの全体像を描くと共に、市町村が行う行政事務の実行支援を通じて、森林所有者等に対する指導等を行う人材です。

実際に現場で森林経営の指導・実行を担う市町村を技術面から支援するため、森林計画の作成や路網作設等の事業実行に直接携わるなどの実務経験を有し、長期的視点に立った森林づくりを計画・指導できる技術者を「フォレスター」として育成することとされ、平成二十五年度から「森林総合監理士（フォレスター）」資格認定試験が実施されています。

◆この技術者育成研修では、将来の森林総合監理士候補である方々に森林総合監理士の役割を理解してもらうと共に、活動に必要な知識や技術を認識していただくこと。また、各人がそれぞれ持っているやり方で思考する力を呼び覚まし、それによって研修生が意欲をかき立てられて進んでいく方向を指し示すことを主たる目的としています。

◆四国森林管理局では、森林技術・支援センターを研修拠点として、管内の国有林をフィールドとして活用し、「技術者育成研修四国ブロック」を実施することとしています。

◆東京都内での中央研修を終えた研修受講生十九名（県職員十四名、国有林職員五名）を対象に、九月二十九日～十月二日の日程で実施ました。

◆初日は、挨拶から始まり、井上長官の講義が型にはまった森林の施業方法の選択）」の研修テーマ「森林総合監理士（フォレスター）」の研修は、四国森林管理局の中村班長の挨拶から始まり、次に高知県の森林づくり酒井チーム長